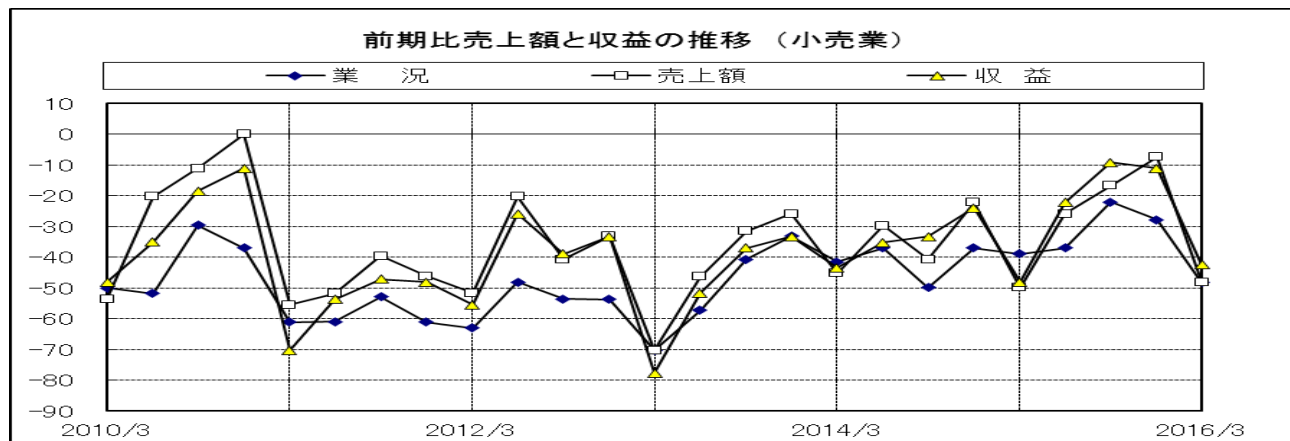


小 売 業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～1 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-22.1	-27.8	-48.2	-35.2
売上額	-16.7	-7.4	-48.1	-18.5
収 益	-9.2	-11.1	-42.5	-27.7

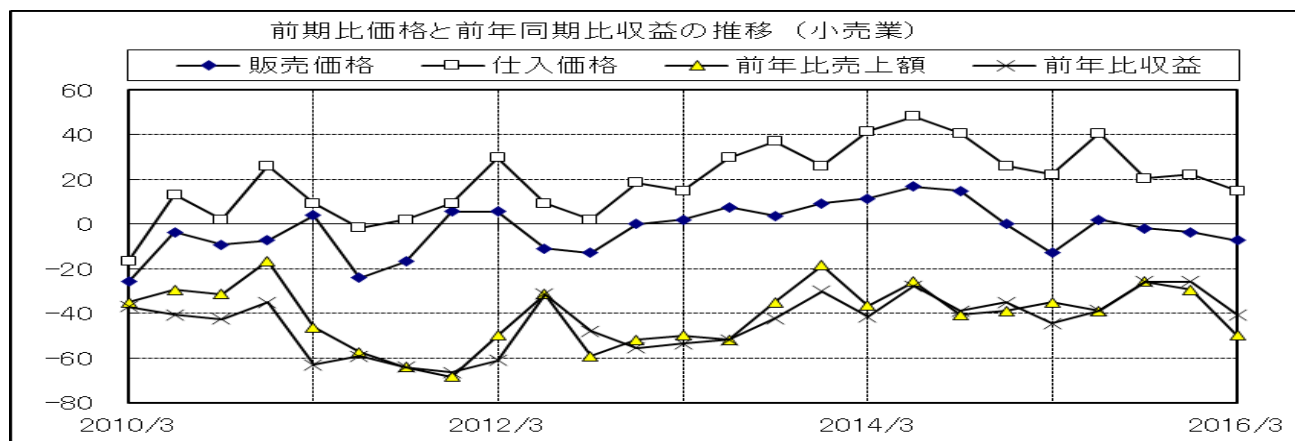
今期の業況判断 D. I. は△48.2 と、前期比 20.4 ポイント下降、悪化幅がさらに拡大した。地区別の D. I. は高い順に、広尾、三石、様似、浦河、静内、えりもと続いた。業況判断 D. I. は、前年（△38.9）比 9.3 ポイント悪化した。売上額判断 D. I. は△48.1 と、前期比 40.7 ポイント下降。収益判断 D. I. は△42.5 と、前期比 31.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	-1.9	-3.7	-7.4	0.0
仕入価格	20.4	22.2	14.8	3.7

販売価格判断 D. I. は△7.4 と前期比 3.7 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 14.8 と前期比 7.4 ポイント下降した。販売価格は前年（△13.0）比で 5.6 ポイント上昇。仕入価格は前年（22.2）比 7.4 ポイント下降した。業種別で衣料品は販売価格、仕入価格ともに下降。食料品は販売価格が下降し、仕入価格は上昇した。家電品は、仕入価格、販売価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-5.5	-1.9	-9.2	-3.8
人手状況	-14.8	-11.1	-13.0	-18.5

残業時間判断 D. I. は△9.2 と、前期比 7.3 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△13.0 と、前期比 1.9 ポイント下降し、人手不足感が一段と強まった。

□ 設備投資の動き

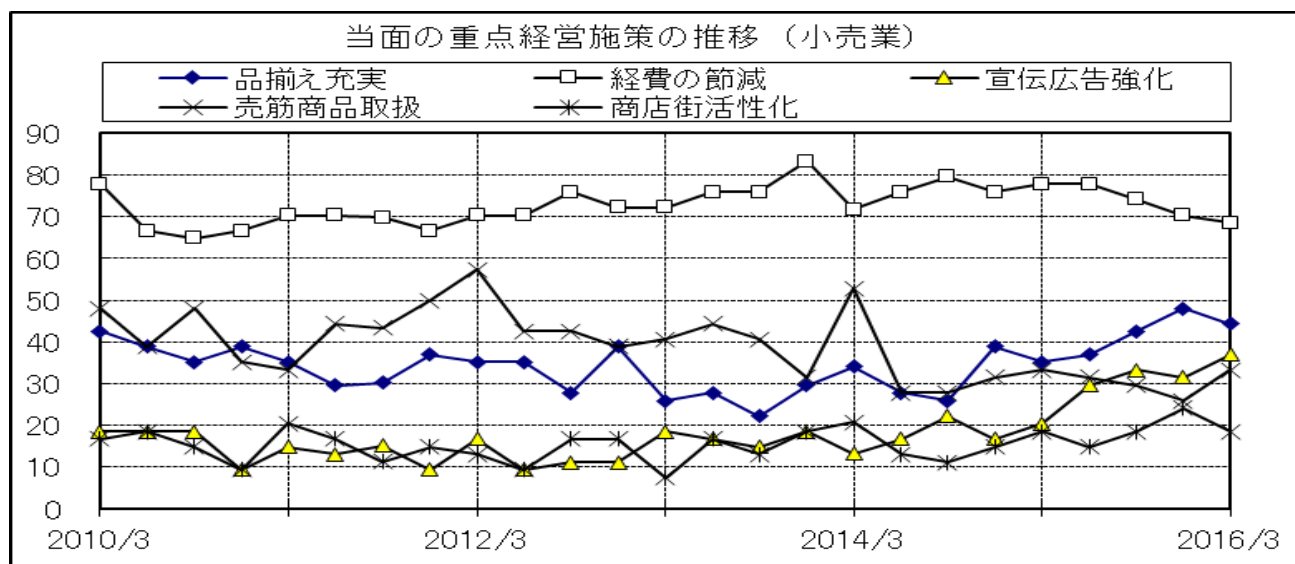
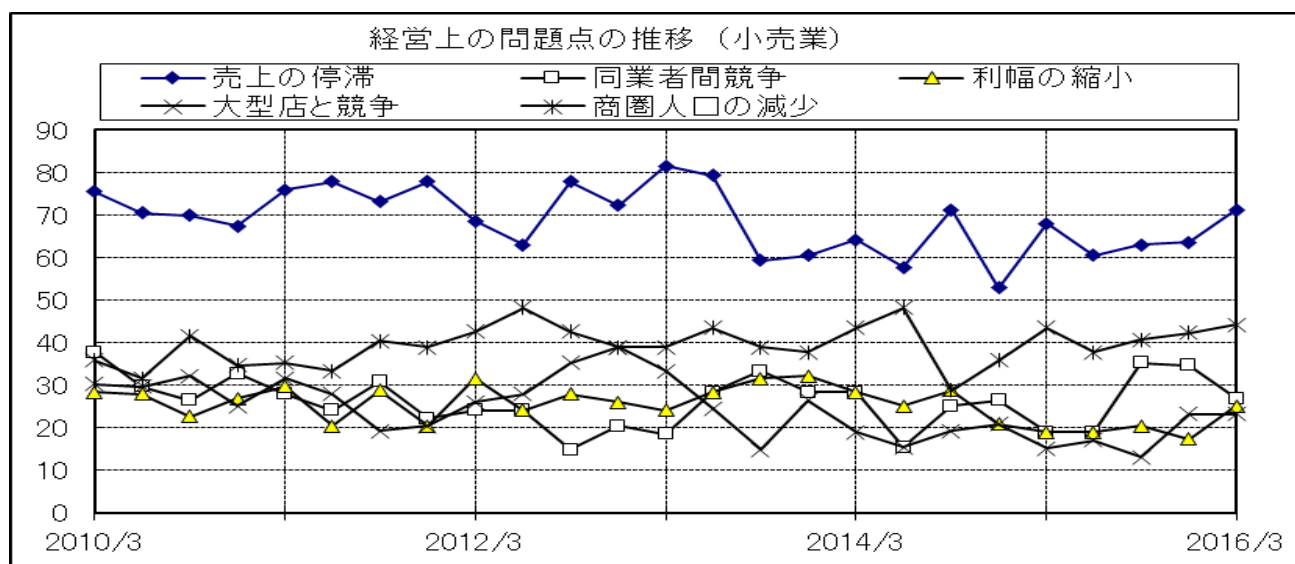
設備投資の充足感を示すD. I. は△14.8 と、前期比 5.5 ポイント悪化した。

設備投資実施企業は前期の 0 社に対し、2 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 3 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ 71.2%、次に「商圈人口の減少」が 44.2%、「同業者との競合」26.9%、「利幅の縮小」25.0%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 68.5%、次に「品揃えを改善する」44.4%、「宣伝広告を強化」37.0%、「売れ筋商品取扱い」が 33.3%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△35.2 と、今期比 13.0 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△18.5 と、今期比 29.6 ポイントの上昇を見通している

予想収益判断 D. I. は△27.7 と、今期比 14.8 ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 0.0 と、今期比 7.4 ポイントの上昇を見通している。

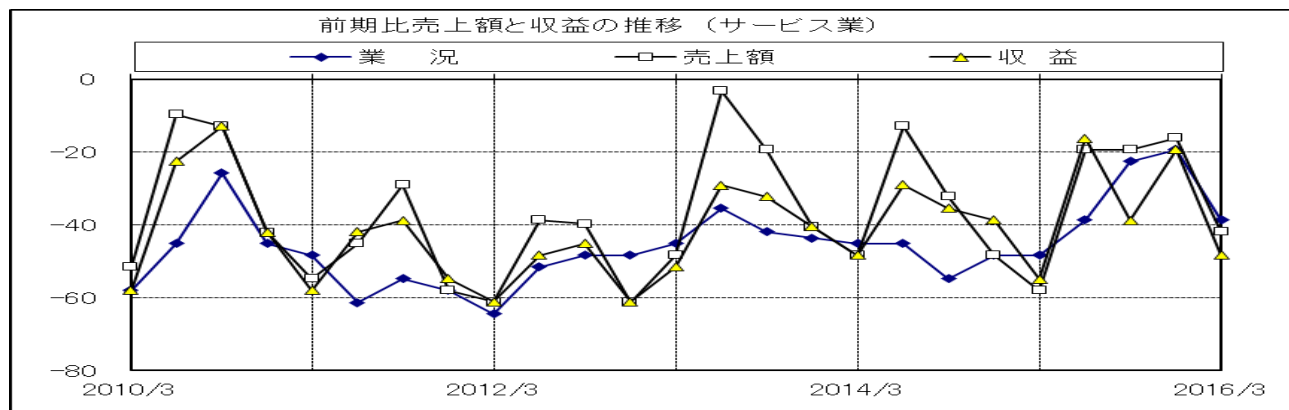
予想仕入価格判断 D. I. は 3.7 と、今期比 11.1 ポイントの下降を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-22.6	-19.3	-38.7	-12.9
売上額	-19.4	-16.1	-41.9	-0.1
収 益	-38.8	-19.3	-48.4	3.2

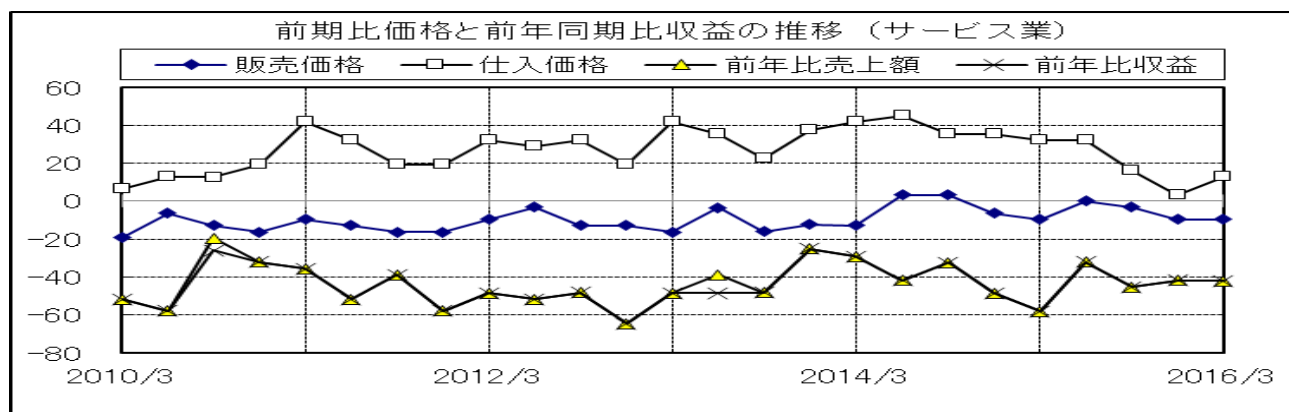
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 38.7$ と、前期比 19.4 ポイント下降し、さらに悪化した。地区別の D. I. は高い順に、三石・浦河・静内次に様似・広尾が同水準と続き、えりもが最も低い水準となった。前年 ($\Delta 48.4$) 比では 9.7 ポイントの改善となった。売上額判断 D. I. $\Delta 41.9$ は前期比 25.8 ポイント下降。収益判断 D. I. $\Delta 48.4$ は前期比 29.1 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
料金価格	-3.2	-9.7	-9.7	6.5
材料価格	16.1	3.3	12.9	16.1

料金価格判断 D. I. は $\Delta 9.7$ と前期比横這い。材料価格判断 D. I. は 12.9 と前期比 9.6 ポイント上昇した。業種別にみると料金価格は洗濯理容業が上昇、自動車整備業が下降した。材料価格は洗濯理容業・旅館業で上昇した。料金価格は前年 ($\Delta 9.7$) 比で横這い。材料価格は前年 (32.3) 比で 19.4 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～1 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-9.7	-9.7	-12.9	0.0
人手状況	-6.4	-3.2	-12.9	-9.6

残業時間判断 D. I. は $\Delta 12.9$ と、前期比 3.2 ポイント下降、残業時間の減少割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 12.9$ と、前期比 9.7 ポイント下降し、人手不足感は一段と強まった。

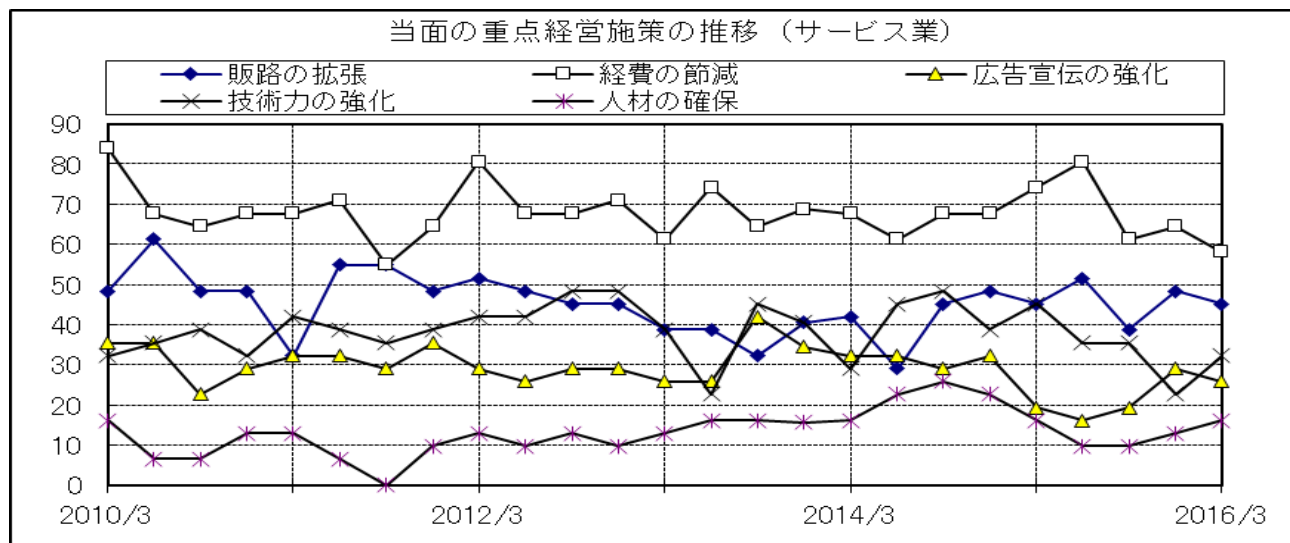
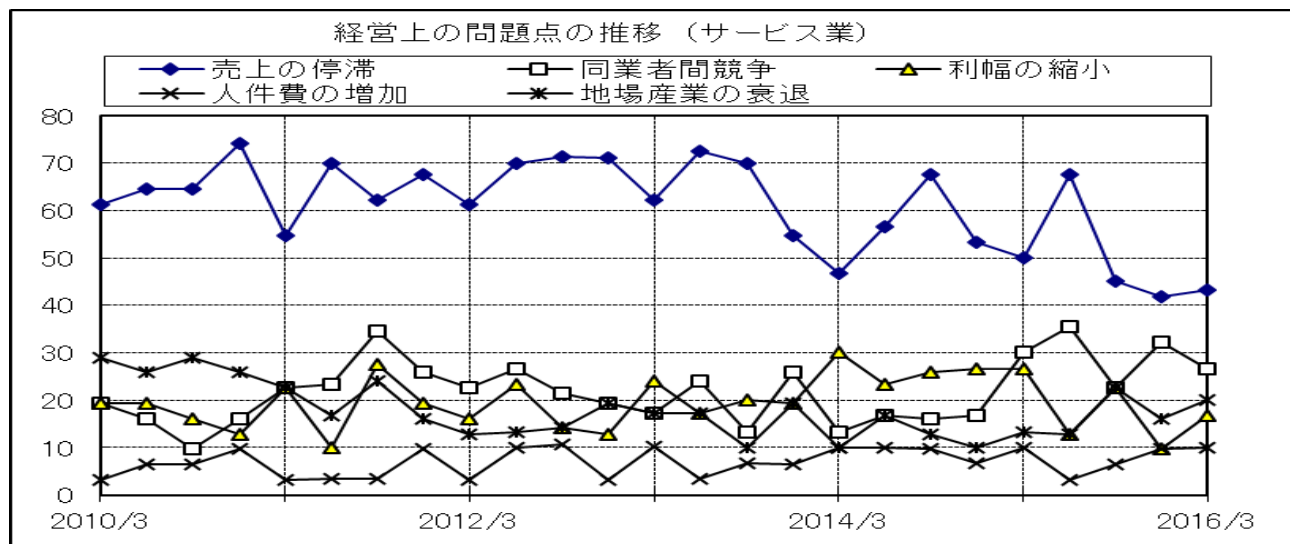
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は $\Delta 9.7$ と、前期比ほぼ横這いの水準となった。

設備投資実施企業割合は 12.9 で前期比 6.5 ポイント下降。前期 6 社の実施に対し、4 社の実施となった。来期の設備投資は、5 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口の減少」53.3%をトップに、「売上の停滞減少」43.3%、「同業者との競争」26.7%、次いで「地場産業の衰退」20.0%となっている。重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 58.1%、次いで「販路を広げる」45.2%、「技術力を強化する」が 32.3%、「宣伝広告の強化」25.8%、と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は $\Delta 12.9$ と、今期比 25.8 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断 D. I. は $\Delta 0.1$ と、今期比 41.8 ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は 3.2 と、今期比 51.6 ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想料金価格判断 D. I. は 6.5 と、今期比 16.2 ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断 D. I. は 16.1 と、今期比 3.2 ポイントの上昇を見通している。